

野木町国際交流協会【NIA】

発行：野木町国際交流協会情報交流部 所在地：栃木県下都賀郡野木町丸林 571 野木町公民館内
TEL 0280-57-4188 <http://nogitown.hacca.jp/> MAIL wyamada@nifty.com

2023年11月1日発行

オープンクラス開催



Open Class



日本語教室

日時：7月23日(日)

午前10時～11時

場所：公民館

主催：野木町国際交流協会

予約不要、

問合せ：080-8713-1659



野木町国際交流協会が主催する日本語教室では、野木町在住の外国人の方々を対象に、毎週日曜日に日本語を教えています。さらに、このプログラムを広く知ってもらうため、7月23日にオープンクラスを開催しました。

オープンクラスでは、日本語教室の内容や実際の授業の雰囲気を見ていただくとともに、日本語を学びたいと思っている方々と交流する機会を提供しています。毎年恒例のイベントとなっており、日本語教室に参加を検討している方や、日本語を学びたいと思っている方は、ぜひこの機会を利用してオープンクラスにご参加ください。

バーベキューフェスタ



野木町国際交流協会は、5年ぶりになるバーベキューフェスタを行いました。当交流協会会員と日本語教室の生徒が、日本語の会話を通して、食事を共にしながら親睦を深める絶好の機会です。会員の方々は、日本語教室の生徒たちの出身国や文化について知ることができ、一方、日本語教室の生徒は、会員の日常生活や考え方を知ることができました。双方が交流することで、お互いの理解を深め、国際交流を促進することに役立ちます。以上のことから、当協会のバーベキューフェスタが、今後とも会員と日本語教室の生徒の交流が促進され、日本語教室の生徒の日本語力向上や異文化交流の推進につながる場所になることを期待します。





今年の9月21日は日本とベトナムの外交関係樹立から50周年を迎えました。この特別な機会に、秋篠宮両殿下がベトナムを訪問されました。



今回、英会話ベトナム編では、日本からの直行便があるハノイ、ホーチミン、ダナン（ホイアン）の3つの都市を訪れました。ベトナムは美しい自然環境、豊かな文化、美味しい料理の魅力でいっぱいですが、英語が広く話されているわけではありません。しかし、基本的な英会話スキルができれば、ベトナム人の人懐こい性格が不足分は継ぎ足してくれるでしょう。

昨年11月から、Chat GPTの登場により、英会話学習が一段と身近になりました。このAIモデルを利用して、外国語での会話をシミュレート作成することができるようになりました。今回は、よりリアルな状況を想定した英語のコミュニケーションを作成することにより、会話スキルが大いに向上しました。

皆さんが動画を見ながら楽しく学習することを目的としていますので、ベトナムの美しい風景や文化、食べ物を、英語を学びながら素晴らしい旅行体験を楽しんでいただけたことでしょう

そして、来年の2月ごろには、インドネシア編を展開予定です。国の選択基準は、日本語教室で学習している生徒の出身国に基づいています。この取り組みを通じて、野木在住の外国人の母国や生活習慣を深く理解し、文化交流を促進する一助となることを期待しています。



9月末時点での、日本語教室生徒数

日本に働きに来ている外国人労働者は、多様な背景や職種で活躍しています。9月末現在の野木町日本語教室の生徒数は、次の通りです。

国名	総数	男性	女性
ベトナム	8名	8名	
スリランカ	3名		3名
インドネシア	2名		2名
フィリピン	1名	1名	

異 国 へ

野木町日本語教室生徒

初めまして、インドネシア出身のティファディラーと申します。私は3人兄弟です。私は一番上で妹と弟がいます。父は高校の先生、母は中学校の先生です。私が日本に来たきっかけは日本についての雑誌をみたからです。その時京都の写真をみて、京都にある金閣寺の美しさにひかれました。私は絶対にここに行きたいと思っていました。高校生のときに日本語ができる体育の先生がいました。その先生から日本のひらがなや漢字、雑誌を見せてもらったので、そのときから私は日本に強い興味を持つようになりました。それから高校卒業後、日本で日本語を学びたいことを両親に話しました。父は大丈夫だったが母は反対だった。なぜなら一人で日本に行って、知り合いとかだれもいないし、しかも言語も違うし、母はやっぱりしんぱいでした。そして父は母がなっとくできるように説明し、母からの許可をもらい、日本に来ました。初めて日本来た場所は長野県の上田市でした。町がとても綺麗で印象的でした。日本にきて、感動した事とびっくりした事があります。感動した事は初めて雪を見た時でした。その時私は菅平高原にあるホテルでアルバイトをしていました。来た時、雪はまだふっていませんでしたが次の日の朝、窓の方を見た瞬間周りは真っ白で見たことが無い光景でした。それを見て私はすぐ走って寝転がりました。嬉しすぎて、ジャンパーも着ないまま外に出たので、すごく寒かったです。日本の冬ってこんなに寒いんだなあ～と感じました。その時すぐ近くに女子高生たちが歩いているのを見てびっくりしました。寒いのになぜ短いスカートで平気で歩いているんだろうなあ～と不思議に思いました。今でも冬の時期、短いスカートの女子高生を見ると、寒くないのかな～と不思議に思います。

編集後記 異文化交流

異文化交流と一口に言うのは簡単ですが、いまだに戸惑いを感じざるを得ません。日本語教室を通じて、様々な国の方々と接する機会が増えると、彼らからの相談ごとが増えてきます。ビザの更新手続き方法、初めての病院の問診票の記入方法、子供の教育など。日本語が不自由で海外で生活することは、なかなか難しいことです。私たちが逆の立場で、長期の海外生活を送ることを想像したら、とても厳しいことが理解できるでしょう。

しかし、南方系の方々が多いせいか、日本人と比べると、一概に明るい性格の人が多いです。彼らは心がおおらかで、日本語教室には無断で欠席することもあり、電話をかけてもまだ家を出ていないのに、「今角を曲がった所」と返事をするのが常です。また、相談事の解決の手助けをしてやっても、結果の報告は一切してきません。これが彼らの世界なのでしょう。こちらが心配して電話をすると、「ありがとう、問題ない」と一言で済まされます。でも彼らは憎めない人たちです。また、イスラム教徒の方々もおられるので、彼らの食生活の違いにも注意を払わなければなりません。このような経験を通じて、異文化交流は言葉や習慣だけでなく、思考や価値観の違いを受け入れることが求められることを学びました。(Ⓜ)